

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H1201
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニティーサービス		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
コミュニティーサービス					
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1・2	通年	必修	20	1	笠井 伸子
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	交流授業など通常の科目の学習枠を越えた様々な学習活動を行うことで、各科目で学んだことを総合的に活用することができる。				
思考力・判断力・表現力	様々な世代人たちや文化的背景の違う人たちとのコミュニケーションスキルを実践的に身につける。				
学びに向かう力	学生が主体的に計画実行することで自らの可能性に気づく。				
授業の概要					
地域の人との国際交流を通して、お互いの多文化理解を深めることを目指す。多文化理解を通して、コミュニケーションへの理解を深め、共生のあり方を探る。					
成績評価基準					
活動後のレポート、課題、日常評価 (出席状況・学習態度) の総合評価とする。出席要件は教務規定 (総時限数の2/3以上) に準ずる。				レポート	30%
				課題	40%
				日常評価	30%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
			時間数		
1. ボランティア活動					
1-1 ボランティア活動準備			4		
1-2 ボランティア活動			4		
1-3 ボランティア活動振り返り			2		
2. 地域交流事業					
2-1 地域交流活動準備			4		
2-2 地域交流活動			4		
2-3 地域交流活動振り返り			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H102
授業科目名		授業形態		学科・コース	
センモンニホンゴ I ----- 専門日本語 I		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中田 吉則
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本語能力検定2級相当の日本語中・上級として必要な語彙や表現、日本社会に関する知識を得る。				
思考力・判断力・表現力	汎用性の高い語彙や表現を理解し、読解力を高めながら、発話と作文の力を高める。				
学びに向かう力	日本語に関する知識だけでなく、日本の生活文化に関する知識を得ることで、日本語と日本社会、接客やサービスへの理解を深める基礎力を得る。				
授業の概要					
日本の社会や文化の幅広いテーマにわたる知識を得られる教材を用いて、語彙や表現の質、文章の構成を理解する力を高める。また、グループワークや発表を通して、自ら考え、表現する力を身に着ける。					
成績評価基準					
出席状況や学習態度による日常評価、課題、科目修了試験を対象とする。 出席要件は教務規定（総時間数の2/3以上）に準ずる。				修了試験	60%
				課題	30%
				日常評価	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>『クローズアップ日本事情15』(tha japan times PUBLISHING)</li> <li>課題 (自作)</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
			時間数		
1. 日本の概要と都市			6		
2. 交通と旅			4		
3. 食生活と食文化			4		
4. 年中行事			4		
5. ポップカルチャー			4		
6. スポーツ			4		
7. 暮らしと環境			4		
その他			関連科目		
			専門日本語Ⅱ・Ⅲ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H103
授業科目名		授業形態		学科・コース	
センモンニホンゴⅡ ----- 専門日本語Ⅱ		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	中田 吉則
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本語能力検定2級相当の日本語中・上級として必要な語彙や表現、日本社会に関する知識を得る。				
思考力・判断力・表現力	抽象度の高い語彙や表現を理解し、読解力を高めながら、自らの表現力を得る。				
学びに向かう力	日本語に関する知識だけでなく、広く日本社会に関する知識を得ることで、日本語と日本社会、接客やサービスへの理解を深める基礎力を得る。				
授業の概要					
日本の社会や文化の幅広いテーマにわたる知識を得られる教材を用いて、多角的な視点から読解力と文章による表現力を高める。また、グループワークや発表を通して、自ら考え、発信する力を身に着ける。					
成績評価基準					
出席状況や学習態度による日常評価、課題、科目修了試験を対象とする。 出席要件は教務規定（総時間数の2/3以上）に準ずる。				修了試験	60%
				課題	30%
				日常評価	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>『クローズアップ日本事情15』(tha Japan times PUBLISHING)</li> <li>課題 (自作)</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
		時間数			
1. 日本の現代的課題 (多文化共生と地方)		6			
2. 歴史		4			
3. 伝統文化		4			
4. 科学技術		4			
5. 教育と子ども		4			
6. 産業と経済		4			
7. 政治と憲法		4			
その他		関連科目			
		専門日本語Ⅰ・Ⅲ			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H104
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ニホンゴヒョウゲン 日本語表現		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	45	2	中田 吉則
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	中級以上の文法や読解を中心に学習し、読む、書く、聞く、話す、の4技能を高め、論理的に考えられる力を身に付ける。				
思考力・判断力・表現力	タスクを通じて、日本語の会話力を高めるとともに、様々な内容について考える力を付ける。				
学びに向かう力	ペアワークやグループワークを通して、協調性や協働性を身に付ける。				
授業の概要					
日本語能力試験N2レベルの漢字や文法も学習しつつ、対話する力を高める。また、クラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。日本社会についての知識だけでなく、社会的なテーマについて自ら考えていく力を身に付ける。					
成績評価基準					
出席状況、学習態度、小テスト、課題、科目修了試験の総合評価とする。				修了試験	50%
				レポート	20%
				課題	20%
				日常評価	10%
使用テキスト・教材					
・『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』(スリーエーネットワーク)					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
		時間数			
1. 習い事は役に立つ?		6			
2. 漢字・ひらがな・カタカナ、 どれで書く?		6			
3. 昔話の世界を知ろう		6			
4. 旅の計画を立ててみよう		6			
5. 違いについて考えてみよう		6			
6. 音楽にはどんな力がある?		6			
7. 日本から世界へ		6			
8. プロジェクト		3			
その他		関連科目			
		専門日本語 I、II、III			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H107
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キギョウケンキュウ・キャリアデザイン 企業研究・キャリアデザイン		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	中田 吉則
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本の会社について理解し、就職活動に向けての準備をする。				
思考力・判断力・表現力	日本の会社で働くということを具体的に学ぶ。あわせて自らを客観的に分析し現実的な行動を計画する力を得る。				
学びに向かう力	日本での就労と就職活動は母国とは全く異なるため、様々な準備が必要となる。それらを理解し、就職活動に取り組む。				
授業の概要					
日本での仕事理解を行うため、企業研究を行い、キャリアデザインに取り組み、発表会を行う。また、自己PR、履歴書やエントリーシートの書き方など日本での就職活動に必要なスキルを学習する。					
成績評価基準					
授業への取り組み、発表及び総合評価とする。				レポート	40%
				課題	40%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>『外国人留学生のための就職活動テキスト』第1章、第2章、第4章</li> <li>自作プリント</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
		時間数			
1. 日本で働く			4. 発表		4
1-1. マナーと身だしなみ	2		5. 自己分析・志望動機・自己PR		
1-2. 就職活動の流れ	2		5-1. 自己分析		2
2. 仕事を探す			5-2. 志望動機		2
2-1. 仕事の探し方 (マイナビ登録)	4		5-3. 自己PR		2
2-2. 業界研究・企業研究	2		5-4. 履歴書作成		6
3. キャリアデザイン					
3-1. 目標設定	2				
3-2. 行動指針づくり	2				
その他	関連科目				
	就職試験対策				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB2H108
授業科目名		授業形態		学科・コース	
シユウシヨクシケンタイサク 就職試験対策		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	中田 吉則
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能		入社試験の基礎的な知識を得、また解法を理解する。			
思考力・判断力・表現力		基本的なSPIの解法のコツを学びながら、思考に柔軟性を持たせられる。			
学びに向かう力		就職活動について、この授業を足掛かりに自主的に、必要なことを確認できる力を得る。			
授業の概要					
入社試験で問われる一般常識とはどのようなものか、実際に取り組み学ぶ。数学の基礎を確認したうえで、SPIの基礎的な解法を身に付ける。					
成績評価基準					
科目修了試験、課題（小テストを含む）、日常評価（出席状況・学習態度）を対象とし、総合的に評価する。 出席要件は教務規定（総時限数の2/3以上）に準ずる。				修了試験	60%
				課題	20%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
1. 一般常識		時間数	10		
2. SPI			20		
その他			関連科目		



シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H111
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスマナーI		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
ビジネスマナーI					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	遠藤 茂瑚
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本社会で働くために必要な基礎知識を身につける。具体的には、日本の社会常識、職場で好印象を与える言葉づかいや態度などのコミュニケーション力、仕事を円滑に進めるためのビジネスマナーを習得する。				
思考力・判断力・表現力	自国と日本の文化・価値観・習慣の違いを理解し、その違いを踏まえながら適切に判断・行動できる力を養う。日本特有のマナーや仕事の進め方を学び、場面に応じて自分の考えを表現できるようにする。				
学びに向かう力	日本のビジネスマナーを主体的に学び、将来の就職や社会生活に活かそうとする姿勢を育てる。また、1年次11月に実施される「社会人常識マナー検定 Japan Basic」の合格を目標とし、継続的に取り組む。				
授業の概要					
本授業では、日本で働くことを目指す留学生を対象に、日本社会における基本的な社会常識やビジネスマナーを学ぶ。あいさつ、言葉づかい、身だしなみ、報告・連絡・相談など職場で求められる基礎的な行動を理解し、実践的な演習を通して身につけていく。また、自国との文化や習慣の違いに目を向け、日本特有の考え方や仕事の進め方を理解することで、日本社会で円滑に働くための判断力と適応力を養う。授業ではロールプレイやディスカッションを取り入れ、実践的に学ぶとともに、1年次11月に実施される「社会人常識マナー検定 Japan Basic」合格を目標として、基礎力の定着を図る。					
成績評価基準					
授業への意欲 (出席・態度)、授業内の課題や小テスト、科目修了試験および検定試験の結果で評価する。				修了試験	30%
				検定試験	30%
				課題	20%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
『社会人常識マナー検定 Japan Basic』(エデュプレス) パワーポイント・プリント (自作)					
授業内容・授業計画					
ガイダンス	時間数	2	9. 過去問題演習		12
1. 日本人の考え方		2	検定試験以降、状況により「留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール」を使用する		10
2. 日本の生活と文化		2			
3. 良い人間関係を築くコミュニケーション		6			
4. 社内外の人とのコミュニケーション		2			
5. 文書によるコミュニケーション		4			
6. 職場のルールとトラブル		4			
7. 仕事をスムーズに行うためのビジネスマナー		4			
8. 日常生活のマナー		2			
その他	関連科目				
実務経験がある教員が担当する科目である。	ビジネスマナーII				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H113
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アイシーティーキッズ ICT基礎		講義・演習	対面 メディア	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	中村 知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	Windows PCの基本操作や主要ツールの基本的な操作方法を習得し、情報活用に必要な知識と技能を身につける。				
思考力・判断力・表現力	状況に応じた操作方法を自ら考え判断する力、適切に情報を扱い表現する力を養う。				
学びに向かう力	安全にICTを利用するための基礎的なリテラシー、情報社会に必要な態度・意識を持つ。				
授業の概要					
WindowsPCを扱うにあたり必要な基本操作を確認しながら実際に操作して覚える。授業および学校で使用するツール (Teams、メール、Word、Excel) についても基本事項を実際に操作して覚える。また、安全にインターネットおよびPCを使うためのICTリテラシーを講義中心で学ぶ。					
成績評価基準					
テーマごと実施する確認課題により評価する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が配付する自作資料、説明動画</li> <li>・(パワーポイント) 5つの分野のICTリテラシーを学ぼう (総務省公表の教材)</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
			時間数		
Windows 操作			4		
Teams の使い方			2		
メールの使い方			2		
ICT リテラシー			2		
Word の使い方			2		
Excel の使い方			2		
PC の基本的な仕組み			2		
その他	関連科目				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H114
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パソコンキソ ----- パソコン基礎		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	中村 知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本語(ローマ字)入力ができる。Excelを使用して表やグラフなどが作成できる。PowerPointで簡単なスライドが作成できる。				
思考力・判断力・表現力	基本的なパソコン操作ができるようにする。				
学びに向かう力	パソコンスキルを上げるためには、個人での学びが非常に重要となる。前向きな姿勢で取り組んでほしい。				
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード入力が早くできるように繰り返し練習する。</li> <li>・一般的に仕事でよく使用されているExcelが使えるように例題を行いながら学習する。</li> <li>・word、PowerPointで文字と画像がバランスよく配置できるように学習する。</li> </ul>					
成績評価基準					
実技テスト、課題提出				実技テスト	70%
				課題	30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布プリント</li> <li>・日本語ワープロ検定試験 日本語ワープロ模擬問題集 (日本情報処理検定協会)</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
		時間数	3. Excel		
1. WindowsOS、ブラウザ、フォルダ管理	4		基本機能		2
2. Word			表作成		10
入力練習	16		関数		4
図形、画像等の挿入	4		グラフ		2
文書作成	10				
			4. PowerPoint		
			テキストボックス、図形		2
			プレゼンの仕方		4
			プレゼンテーション (発表)		2
その他		関連科目			
		パソコン応用			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H116
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスブンショイチ ----- ビジネス文書 I		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	中村 知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	ビジネスで使用する言葉と文書の書き方を学習する。 ビジネスメールの仕方と表現を学習する。				
思考力・判断力・表現力	状況に合わせて、適切な丁寧さや文量について考え、判断することができる。				
学びに向かう力	様々な場面での例を練習することで、実務で対応できるような基礎力を身につける。				
授業の概要					
日本のビジネスメールの常識とマナー、敬語について学び、相手にとってわかりやすく、礼儀正しいメールを書けるようになる。また、練習を通して、基本の表現や言い回しを学び、ビジネスメールが書けるようにする。					
成績評価基準					
科目修了試験、実技試験、課題				修了試験	50%
				実技試験	40%
				課題	10%
使用テキスト・教材					
『8の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』(スリーエーネットワーク)					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
1. 基本ルール8		時間数	2. 仕事のメールを書く		
1-1. 件名	2	2-1. 依頼に対する承諾	2		
1-2. 宛名	2	2-2. 依頼に対する回答/保留	2		
1-3. 書き始め	2	2-3. 依頼、お礼	2		
1-4. 主文 (伝わりやすさ)	2	2-4. 指摘、催促、お詫び	2		
1-5. 主文 (誤解や疑問を発生させない)	2	2-5. ファイルの添付	2		
1-6. 主文 (相手の状況や気持ち)	2	実技試験	2		
1-7. 主文 (仕事のメール)	2				
1-8. 書き終わり	2				
筆記試験	2				
その他	関連科目				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H119
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ジツヨウエイゴギノウケンテイタイサク I 実用英語技能検定対策 I		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	120	2	笠井 伸子
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	ビジネス社会においてよく用いられる英語表現を学習し、英検準2級の合格を目指す。				
思考力・判断力・表現力	ビジネスシーンで使われる表現を学び、周りの人と意思疎通することができるようになる。				
学びに向かう力	クラスメイトとフィードバックしあい、共通の目標に向かって取り組むことで、実践的な会話力を身につける。				
授業の概要					
ビジネスシーンに必要な英会話を、教科書のリスニング、ディクテーション、ロールプレイングなどを通して学ぶ。					
成績評価基準					
期末に実施する筆記試験、小テスト・課題、日常評価 (出席状況・学習態度) の総合評価とする。 出席要件は教務規定 (総時間数の2/3以上) に準ずる。				筆記試験	50%
				小テ課題	30%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
『英検準2級過去6回全問題集』(旺文社)、『キクタン英検2級』(アルク) 配布プリント					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
英文作成	10				
会話	20				
オフィスにおける会話	20				
ビジネスシーンでの会話	15				
最新時事ニュース	15				
英検対策	40				
その他	関連科目				
	実用英語技能検定対策II				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H120
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ニホンゴシケンN2 タイサク I ----- 日本語試験N2 対策 I		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	120	2	笠井 伸子
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本語能力を高めるとともに、日本語能力試験N2 の合格を目指し、学習する。				
思考力・判断力・表現力	日本語能力試験N2 の試験対策を通して、日本語の知識やコミュニケーション能力を身につける。				
学びに向かう力	クラスメイトと励まし合い、合格に向けて協力することで学びを深め、モチベーションを高める。				
授業の概要					
日本語能力試験N2 の文字語彙・文法、読解、聴解の試験対策を行い、合格を目指す。					
成績評価基準					
科目修了試験、小テストや課題、日常評価 (出席状況・学習態度) の総合評価とする。 出席要件は教務規定 (総時間数の2/3以上) に準ずる。				修了試験	70%
				小テ課題	20%
				日常評価	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>『ドリル&amp;ドリル日本語能力試験N2 基礎力アップ』(ユニコム)</li> <li>テスト・課題 (自作)</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
			時間数		
1. 文字語彙			40		
2. 文法			40		
3. 読解			40		
4. 聴解			14		
5. 模擬試験			4		
6. 期末試験			2		
その他			関連科目		
			日本語試験N2 対策II 日本語試験N1 対策II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H121
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ニホンゴシケンN1 タイサク I ----- 日本語試験N1 対策 I		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	120	3	笠井 伸子
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本語能力を高めるとともに、日本語能力試験N1の合格を目指し、学習する。				
思考力・判断力・表現力	日本語能力試験N1の試験対策を通して、日本語の知識やコミュニケーション能力を身につける。				
学びに向かう力	クラスメイトと励まし合い、合格に向けて協力することで学びを深め、モチベーションを高める。				
授業の概要					
日本語能力試験N1の文字語彙・文法、読解、聴解の試験対策を行い、合格を目指す。					
成績評価基準					
科目修了試験、小テストや課題、日常評価(出席状況・学習態度)の総合評価とする。 出席要件は教務規定(総時間数の2/3以上)に準ずる。				修了試験	70%
				小テ課題	20%
				日常評価	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>『新完全マスター語彙日本語能力試験N1』『新完全マスター文法日本語能力試験N1』(スリーエー)</li> <li>・テスト・課題(自作)</li> </ul>					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
		時間数			
1. 文字語彙		40			
2. 文法		40			
3. 読解		40			
4. 聴解		14			
5. 模擬試験		4			
6. 期末試験		2			
その他		関連科目			
		日本語試験N1 対策II			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H125
授業科目名		授業形態		学科・コース	
サービス セツグウ I		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
サービス 接遇 I					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	根上 裕恵
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本で働くことを前提に接客のみならず、どの業界においても必要とする 気遣いや思い遣りの心 (接遇) を学びながら、サービス接遇検定3級取得を目指す。				
思考力・判断力・表現力	日本ならではの接遇の基本的となる精神や技術、おもてなしの心を軸としたホスピタリティマインドやプロ意識、資質の高い日本人スタッフと遜色ないスキルを身につける。				
学びに向かう力	資質の高いホスピタリティマインドを持つために、おもてなしの心を学び、正し職業観を醸成する意欲				
授業の概要					
公式テキスト 過去問題集を軸にロールプレイングやグループワーク・ワークシェア・ディスカッションを取り入れながら学習を進め、身につく授業を目指す。また、サービス接遇検定3級と準1級面接試験の合格を目指す。					
成績評価基準					
科目修了試験、日常評価 (授業内取組み・出席率)				修了試験	50%
				日常評価	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>『サービ接遇検定公式3級 テキスト』『サービス接遇検定3級 実問題集』(早稲田教育出版)</li> <li>課題 (自作) ・ロールプレイング用教材(自己所有物)</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
アイスブレイク/サービスとは		時間数	V.実務技能 社交業務		
I.サービススタッフの資質 従業要件			VI.対人技能 接遇知識②		
II.専門知識 サービス知識			顧客心理の理解		
II.専門知識 従業要件			検定対策 1		
III.一般知識 社会常識			検定対策 2		
IV.対人技能 人間関係			検定対策 3		
IV.対人技能 接遇知識① 基本			検定対策 4		
IV.対人技能 話し方①			検定対策 5		
IV.対人技能 話し方② 服装			総合演習 実技		
V.実務技能 問題処理 クレーム					
V.実務技能 環境整備					
V.実務技能 金品管理					
その他		関連科目			
実務経験がある教員が担当する科目である。		サービス接遇II			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H127
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ホテルガイド ----- ホテル概論		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	50	2	川口 里香
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	ホテル・旅館業の基本構造や役割、宿泊・料飲部門を中心とした基礎知識を理解し、ホテル業界で働くための基礎的知識を修得する。				
思考力・判断力・表現力	ホテル業務における代表的な場面を事例として取り上げ、状況に応じた適切な判断や行動について考え、その内容を日本語で分かりやすく表現する力を養う。				
学びに向かう力	授業や演習に主体的に取り組み、指示を理解して課題に継続的に取り組む姿勢を身につける。				
授業の概要					
<p>本授業では、ホテル・旅館業の基礎知識を体系的に学び、将来ホテル業界で働くための土台を形成する。</p> <p>留学生にも理解しやすい日本語と具体例を用いて解説する。</p> <p>本授業は出席を必須とする。</p>					
成績評価基準					
科目修了試験、小テストおよび日常評価 (出席状況・学習態度) を総合して成績を評価する。				修了試験	70%
出席要件は教務規定 (総時間数の2/3以上) に準ずる。				小テスト	10%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
『ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論』(ウィネット) 教員配布資料					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
オリエンテーション／ ホテル・旅館業の概要	時間数	4	ホテル内の組織と部門構成 宿泊部門・料飲部門の役割	4	6
ホテルの役割と社会的意義 (4時間)	4	4	サービスとホスピタリティ／ホテル用語	6	6
ホテルの歴史と発展 (4時間)	4	4	業界で働くための心構え	4	4
ホテルの種類と分類 (4時間)	4	4	事例を用いた理解・復習	4	4
ホテル産業の特徴・業界を取り巻く環境	6	6	期末試験対策・期末試験	4	4
その他	関連科目				
実務経験のある教員が担当する科目である。	フロントオフィス、フロントサービス、レストラン・料飲、ホテル総論				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H128
授業科目名		授業形態		学科・コース	
フロントオフィス フロントオフィス		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川口 里香
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	フロントオフィス業務の役割や流れを理解し、予約、チェックイン・チェックアウト、会計、電話対応などの基礎知識を修得する。				
思考力・判断力・表現力	フロント業務の事例を通して、状況に応じた適切な対応について考え、日本語で分かりやすく説明する力を養う。				
学びに向かう力	授業や演習に主体的に取り組み、指示を理解して課題に継続的に取り組む姿勢を身につける。				
授業の概要					
<p>本授業では、ホテルのフロントオフィス業務を中心に、宿泊業務の流れや基本的な対応方法を学習する。</p> <p>実務を想定した事例や演習を取り入れ、基礎的な実務理解を深める。</p> <p>本授業は出席を必須とする。</p>					
成績評価基準					
科目修了試験、小テストおよび日常評価 (出席状況・学習態度) を総合して成績を評価する。				修了試験	70%
出席要件は教務規定 (総時間数の2/3以上) に準ずる。				小テスト	10%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
『ホテルテキスト 宿泊Ⅰ フロント・オフィス編』(ウィネット) 教員配布資料					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
			時間数		
フロントオフィスの役割と宿泊業務の流れ			4		
予約業務の基礎			4		
チェックイン・チェックアウト業務			6		
会計・精算業務の基礎 (4時間)			4		
電話対応・館内案内 (4時間)			4		
事例演習・復習・まとめ (4時間)			8		
その他			関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である。			ホテル概論、フロントサービス、レストラン・料飲、ホテル総論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H129
授業科目名		授業形態		学科・コース	
フロントサービス		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
フロントサービス					
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川口 里香
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	フロントサービスにおける接客の基本、言葉遣い、立ち居振る舞いについて理解する。				
思考力・判断力・表現力	接客場面の事例をもとに、適切な対応について考え、自分の考えを日本語で表現する力を養う。				
学びに向かう力	授業や演習に主体的に取り組み、指示を理解して課題に継続的に取り組む姿勢を身につける。				
授業の概要					
本授業では、フロントサービスを中心とした接客対応の基礎を学習する。 ロールプレイや事例を通して、実務に必要な基本的な対応力を養う。 本授業は出席を必須とする。					
成績評価基準					
課題および日常評価 (出席・授業態度) を総合して成績を評価する。 出席要件は教務規定 (総時間数の2/3以上) に準ずる。				課題	70%
				日常評価	30%
使用テキスト・教材					
『ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編』(ウィネット) 教員配布資料					
授業内容・授業計画 (対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算)					
			時間数		
フロントサービスの役割			4		
あいさつ・立ち居振る舞い			4		
言葉遣い・敬語の基礎			6		
接客対応と要望への対応			6		
クレーム対応の基礎理解			4		
ロールプレイ・まとめ			6		
その他			関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である。			ホテル概論、フロントオフィス、レストラン・料飲、ホテル総論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H130
授業科目名		授業形態		学科・コース	
レストラン・リョウイン		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
レストラン・料飲					
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	川口 里香
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	レストランおよび料飲部門の役割、基本的なサービスの流れを理解する。				
思考力・判断力・表現力	料飲サービスの事例を通して、適切な対応について考え、日本語で説明する力を養う。				
学びに向かう力	授業や演習に主体的に取り組み、指示を理解して課題に継続的に取り組む姿勢を身につける。				
授業の概要					
<p>本授業では、レストランおよび料飲部門における基本的なサービスを学習する。            宴会業務や飲料の基礎についても理解を深める。            本授業は出席を必須とする。</p>					
成績評価基準					
課題および日常評価（出席・授業態度）を総合して成績を評価する。 出席要件は教務規定（総時間数の2/3以上）に準ずる。				課 題	60%
				日常評価	40%
使用テキスト・教材					
『ホテルテキスト 飲料I レストラン・宴会編』（ウィネット） 教員配布資料					
授業内容・授業計画（対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算）					
			時間数		
	レストラン・料飲部門の役割（4時間）		4		
	レストランサービスの基礎（6時間）		6		
	宴会業務の流れ（6時間）		6		
	飲料の基礎知識（4時間）		4		
	安全・衛生管理（4時間）		4		
	事例学習・まとめ（6時間）		6		
その他			関連科目		
実務経験のある教員が担当する科目である。			ホテル概論、フロントオフィス、フロントサービス、ホテル総論		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H136
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ジッセンエイゴ 実践英語		講義 演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修年次	開講時期	必修・選択	標準時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	笠井 伸子・森 麻里
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	TOEIC®教材で頻出する語彙・表現を中心に、ビジネス場面で使われる英語の基礎的な意味の理解と表現の使い方を身につける。				
思考力・判断力・表現力	場面や状況に応じて必要な情報を捉え、適切な英語表現を選択・理解する力を養う。				
学びに向かう力	ビジネス英語の習得に向けて、自主的、継続的に学習に取り組む姿勢を身につける。				
授業の概要					
TOEIC® Listening & Reading Test の教材を活用し、語彙・表現・英文の理解を通して、ビジネスで用いられる英語を実際のビジネスの場面で理解し、適切に使う力を養う。 講義と演習を中心に進め、英語を「理解する」だけでなく、場面に即して活用できる力を身につけ、授業のまとめとしてTOEICを受験し、学習成果の確認を行う。					
成績評価基準					
科目修了試験、小テストや課題、出席日数や授業態度による日常評価を対象とし、総合的に評価する。 出席要件は教務規定（総時限数の2/3以上）に準ずる。				修了試験	60%
				小テ課題	20%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
『最新英語入門』（浜島書店）、『TOEIC®L&R テスト文法問題はじめての400問』（ASK）『はじめてのTOEIC® L&R テストきほんのきほん』（スリーエー）、『TOEIC® L&R レベル別問題集』（東進ブックス）、資料配布					
授業内容・授業計画（対面授業の場合は授業進行計画、オンデマンド授業は標準学習時間の積算）					
		時間数			
1. TOEIC の理解と学習方法の確認		1			
2. 頻出語彙・表現の習得（ビジネス場面）		3			
3. 文法基礎の整理（品詞・時制など）		5			
4. Listening (Part1・Part2) 対策と演習		5			
5. Listening (Part3・Part4) 対策と演習		5			
6. Reading (文法・語彙) 対策と演習		5			
7. Reading (Part7 短文・長文) 対策と演習		5			
8. 総復習・期末テスト		1			
その他		関連科目			
		接客英語			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	NJB26H139
授業科目名		授業形態		学科・コース	
カンコウチリ 観光地理		演習	対面	国際ホテル・旅館科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	竹下 拓磨
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	日本各地の観光地の状況や地理、観光スポットについて学習し、各地の名産や名物について学ぶ。				
思考力・判断力・表現力	地理や観光スポットの知識だけでなく、実際にお客様などに紹介や案内ができるようにする。				
学びに向かう力	ホテルスタッフとしても役に立つ知識のため、積極的に授業に取り組んでほしい。				
授業の概要					
地方ごとに、県名、県庁所在地名、地理的特徴、産業等の知識を身につける。					
成績評価基準					
日常評価 (出席・授業態度) および科目修了試験				修了試験	80%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅に出たくなる地図 日本 23 版 (帝国書院)</li> <li>・配布プリント</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
		時間数			
1. 世界と日本		4	9. 中国地方		4
2. 自国と日本		4	10. 四国地方		4
3. 日本の歴史と地名		4	11. 九州地方		4
4. 北海道地方		8	12. 沖縄地方		4
5. 東北地方		4			
6. 関東地方		4			
7. 中部 (東海・北陸) 地方		12			
8. 関西地方		4			
その他			関連科目		
			ツアープランニング I・II		